

構成

<委員>伊丹昌一(会長)、内本繁(副会長)、山田義昭、福井勇、矢野雅哉、森脇祥子

<学校>彌永校長

<事務局>原田事務長、山村教頭、加藤教頭、中村首席、田中裕首席、藤本首席、掛田(首席)部主事  
河合部主事、吉岡(首席)部主事

傍聴者 1名

- 1 校長あいさつ
- 2 事務局からの報告事項
  - ①保護者からの意見について
  - ②高等部3年生の進路指導状況について
  - ③学校教育自己診断の実施について
- 3 学校経営計画について
- 4 次年度への提言等について

\*上記のとおり、報告等を行い、各委員より次のような意見等及び承認をいただいた。

( ( ) 内は、質問等への学校からの回答)

○令和3年度学校経営計画に関して

(1) 「危機に強い学校づくり」について

- ・学校からの連絡メールについて、90%の保護者が肯定的評価をしていることはすばらしい。ぜひ維持を。
- ・学校ホームページについて、現在のトップページが文字化されている。本校の教育活動を伝えていくために、視覚化をお願いしたい。
- ・本運営協議会へ、事前に保護者から意見を募る取組があってもよいのではないかと。

(2) 「指導力の向上」及び「キャリア教育の推進」について

- ・高等部卒業後の進路に関して、就労等の目標数値が高いことはすばらしい。これからも定着にむけて進路先や関係機関と連携して、より一層の支援をお願いしたい。
- ・「GIGAスクール構想」について、導入のスケジュールについてはどのようになっているか。  
(今年度内に小中学部の児童生徒の約半数分、次年度に小中学部の残り数と高等部のすべてにタブレット端末が準備される。現在、校内のインターネット環境について整備を進めている。)
- ・タブレット端末を活用した教育活動について、教員研修等はあるのか。  
(現在のところは国の指示は物品の配付のみ。管理や活用については今後体制を作っていく。)
- ・「GIGAスクール構想」については、物品だけ配付され、活用については各校に委ねられている状況と認識している。また、活用についての報告も必要だろう。たいへんむずかしい状況かと思うが、がんばって取り組んでほしい。

- ・働き方改革について、今年度はコロナ禍により消毒等のさまざまな業務が増えたと思う。このノウハウをしっかりと蓄積し今後に生かしていただきたい。

※以上の審議等を経て、令和3年度の学校経営計画が承認された。

#### ○コロナ禍への対応について

- ・登校後の検温などはしているのか。  
(健康観察カードを活用し、毎日、担任と保護者とで児童生徒の様子について共有している。非接触型の体温計も各学年で常備して活用している。37.5℃以上の時は保護者の迎えをお願いしている。)

#### ○学校教育自己診断について

- ・保護者の提出率が高くてよい。

#### ○各委員からの提言等

- ・昨年の3月～5月にかけてのコロナ禍の対応から始まり、今年度はたいへんだったと思うがご苦労様でした。「さくら連絡網」の導入により保護者との連絡体制が強化されたことはよい対応だったと思う。保護者のから連絡にも随時対応し、安心感も与えられたと思う。このようなたいへんな環境の中よく乗り切ってくれた。
- ・就職についてはこのような社会的にもたいへん状況に心配していたが、おおむね進路先が決まりつつあり安心した。
- ・ワクチン接種が始まるが、当分はこの状況が続くと思う。タブレット端末の活用など、新しい取組が始まったり、今後も様々な局面を迎えたりすると思うが、がんばってもらいたい。
- ・コロナ禍による修学旅行の中止や給食の「新しい生活様式」の様子などを聞き、たいへんな苦労があったことがわかった。進路については学校と市の障がい福祉課の連携ができ、よい結果がでてよかった。
- ・昨年、地域においてはなにも活動ができなかった。今年はいろいろと取り組んでいきたい。学校にも協力をお願いすることがあると思うのでよろしくお願ひしたい。
- ・障がい福祉施設が富田地域に移転してきた。空き家となった家屋を活用して、うまく運営できている。今後このようなケースが増えて、地域との連携が進めばよいと考える。
- ・国の政策を受け、高槻市も障がい福祉計画や障がい児福祉計画を策定している。そのような状況で学校経営計画に放課後等デイサービス事業所との連携について触れていることはありがたい。今後も連携を深めていただきたい。
- ・放課後等デイサービスのサービスの利用計画については児童生徒についてはセルフプランが多いと思う。成人だと相談支援事業所を利用することが多いが児童生徒についてはまだしっかりと確立されていないと感じる。地域で生活を送るうえでは相談支援事業所の活用が進むことが望ましい。教育と福祉の連携が進むことを期待する。
- ・支援学校は府立学校なので、各市町との関わりが希薄になりやすい点を念頭に、進んで連携に取り組んでほしい。
- ・学校Webページの充実、地域との連携、居住地校交流などによりいっそう取り組んでいただきたい。
- ・国の動きとしてICT機器の導入がある。活用は難しいと思うがよろしくお願ひします。
- ・進路指導についてはコロナ禍のなかでよくがんばっている。今後も障がい福祉課との連携を深めていただきたい。進路は就労がすべてではない。生徒ひとりひとりのQOLの向上をめざして取り組んでいただきたい。

- ・他校の状況もみているが、本校は、児童生徒はもとより教職員がよくがんばっている。管理職がしっかりとサポートして教員の健康にも留意していただきたい。

#### 令和3年度の本校学校運営協議会の開催予定

第1回 令和3年(2021)4月23日(金) 10:00～

第2回 令和3年(2021)10月15日(金) 10:00～

第3回 令和4年(2022)2月3日(木) 10:00～